

## 令和5年度上半期のエソール広島の活動状況について

### 1 要旨・目的

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和5年度上半期の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

### 2 現状・背景

「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次広島県男女共同参画基本計画）に基づき、エソール広島が、性別にかかわらず多様な選択をすることができる社会の実現に向けた個人や団体の活動・交流の拠点性を高めていくために、取組を着実に実施することが重要であることから、事業の実施状況や施設の利用状況等を取りまとめ、活動の検証を行うことで、今後の取組の充実・強化を図ることとしている。

### 3 概要

#### (1) 対象者

県民

#### (2) 事業内容（詳細は別紙のとおり）


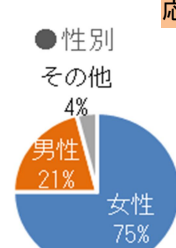
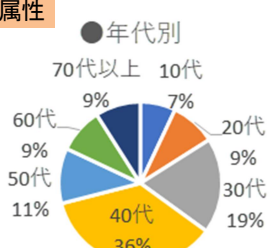
「わたらしい生き方応援プランひろしま」において、県が特に注力するポイント等に基づき、次の3点を重点項目として事業を行った。実施に当たっては、G7広島サミット開催によるジェンダー平等や性の多様性にかかわる理解促進の機運等を捉えたキャンペーンや講座等を実施するなど、事業内容の工夫や充実に努めている。

#### <重点項目>


- (ア) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革
- (イ) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
- (ウ) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

#### ア 重点項目の主な取組

##### (ア) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民が日頃抱えている性別役割に関する「もやもや」した思いや違和感を川柳の形で広く募集・発信し、多くの人に届けることで、共感と気づきにつなげ、社会全体の意識改革を促すキャンペーンとして、ジェンダー川柳コンテストを実施している。</li> </ul>	
評価と今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知事定例会見等によるマスコミを通じた発信や、SNS広告の活用などにより、様々な世代から予想を上回る数の作品が寄せられた。【応募数：1,649 作品】</li> <li>・下半期は、一般投票や優秀作品の授賞式など様々な機会を捉えた啓発を行い、社会全体の気づきや共感につなげるとともに、川柳作品を活用したワークショップを開催し、参加者の意識改革につなげるものとしている。</li> </ul>	<p>応募者の属性</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>● 性別</p>  <p>女性 75% 男性 21% その他 4%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>● 年代別</p>  <p>40代 36% 20代 19% 30代 11% 50代 9% 60代 9% 70代以上 7%10代 7%</p> </div> </div>



(イ) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な悩みに対する電話相談・面接相談を実施し、必要に応じて専門機関に繋ぐ対応を行ったほか、弁護士等による無料の専門家相談会を開催した。</li> <li>【電話・面接相談件数 R4 上半期:1,136件 → R5 上半期:1,153件 専門家相談会参加者 (LGBT 相談を除く): 20名】</li> <li>・困難を抱える方の支援の強化を図るため、対人援助に携わる方を対象とした「カウンセリング技法」の講座や、実践的な内容を学ぶ「ワンデイセミナー」などを実施した。</li> </ul>	 <p>無料相談会ポスターの概要: エソール広島 無料相談会。2023年9月23日(土・祝)開催。相談時間: 10:00-11:00, 11:00-13:00, 13:00-14:00, 14:00-15:00, 15:00-16:00。会場: エソール広島 おりやろタワー10階。相談内容は: 支援者によるLGBT相談、臨床心理士によるこころの相談、弁護士相談。</p>
<p>評価と今後の対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口へ寄せられる相談内容や相談会のアンケート等を踏まえ、相談者のニーズに応じた専門家相談会の開催や、支援者のスキルアップを図る講座等に取り組んでいる。</li> <li>・専門家相談会は、複合的な悩みに対応できるよう、複数分野の専門相談を受けられることとしたところ、2組が弁護士と臨床心理士を組み合わせ合わせた相談につながった。</li> <li>・下半期も引き続き、相談内容の傾向等を踏まえ、電話・面接相談や専門家相談会を実施する。</li> </ul>	

(ウ) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1日LGBT相談窓口を開設し、性別への違和感に関する悩みや自身の性的指向に関する相談対応を行ったほか、専門家相談会では、面接によるLGBT相談に対応した。</li> <li>【相談件数 R4 上半期:100件 → R5 上半期:136件 専門家相談会参加者 (LGBT 相談): 21名】</li> <li>・相談の多い若年層の理解を進めるために、県教育委員会との連携などにより、高等学校における出前授業を実施した。【R4 上半期:11校(年間:28校) → R5 上半期:6校】</li> </ul>
<p>評価と今後の対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家相談会において、個別相談のほか、他の相談者や専門家との交流の場も設けたところ、相談者から「自分と同じような悩みを持つ人と実際に会って話ができて、よい機会だった。」などの意見が寄せられた。また、LGBT相談と臨床心理士相談を組み合わせ合わせた相談が2組あった。</li> <li>・下半期も、若年のうちからLGBT等に対する正しい理解を促進するため、年間30校実施を目指して、高等学校等への出前授業の実施に取り組んでいく。</li> </ul>

(エ) 複数の重点項目にまたがる取組等

<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の健康課題について考える「FEMTECH FES (フェムテック フェス)」や、女性のデジタル分野への就労に向けた意識醸成を目指した「みんなのDX研修～女性×デジタル～」など、今日的なテーマを取り上げて、県や民間団体と連携したイベントを行った。</li> </ul>	 <p>FEMTECH FESでの高校生展示の様子。展示パネルには「女性の健康課題」に関する情報が掲載されている。</p>
<p>評価と今後の対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「FEMTECH FES (フェムテック フェス)」では、高校生の「生理の貧困」に関する学びの展示について支援したり、女性の健康課題に取り組む企業同士を繋ぐことができた。</li> <li>・DX研修の受講者からは「デジタルの活用により自分の働き方や生き方の選択肢が広がると感じた」等の感想が寄せられた。</li> <li>・下半期も、政治分野におけるジェンダー平等の実現に向けたセミナーを開催するなど、民間団体等と連携した取組を進めていく。</li> </ul>	 <p>みんなのDX研修ポスターの概要: 2023年9月29日(金) 13:30-15:30開催。無料。会場: 広島県立広島キャリアセンター(広島県)。内容はデジタルスキルアップに関する研修。</p>

## イ 利用状況

### (ア) 利用者数及び相談件数

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、施設利用者の合計は、コロナ前の令和元年度上半期の利用者数（10,958人）より約8%増加した。

また、相談件数について、一般相談は、対前年同期と比べ、ほぼ横ばいだったものの、LGBT相談については、36%増加している。

#### (利用者数)

区分	令和5年度上半期	令和4年度上半期	対前年同期比
施設利用者数	10,200人	8,118人	125.6%
（うち来館者数）	(8,959人)	(6,428人)	(139.4%)
（うちオンライン参加）	(1,241人)	(1,690人)	(73.4%)
外部施設で開催した財団主催又は共催の講座等の参加者数	1,674人	3,561人	47.0%
合 計	11,874人	11,679人	101.7%

#### (相談件数)

区分	令和5年度上半期	令和4年度上半期	対前年同期比	
一般相談	電話相談	1,101件	1,085件	101.5%
	面接相談	52件	51件	102.0%
LGBT相談	電話相談	136件	100件	136.0%
	面接相談	—	—	—
合 計	1,289件	1,236件	104.3%	

### (イ) 評価と今後の対応

男女共同参画財団主催の事業をはじめ、県や民間団体との共催事業のほか、エソール広島と関わりのある学生が主催する団体によるジェンダー関連イベントの会場として使用されるなど、利用者層が広がり、来館者数が増加する一方で、オンライン参加は減少している。

下半期も、エソール広島において、ジェンダー平等や性の多様性の理解促進の機運等を捉えながら社会のニーズを反映するなど、講座等のテーマの工夫や内容の充実を図り、来館者数の増加と、県内全域から参加できるオンラインの活用強化に取り組むとともに、個人や団体が交流・意見交換し、自主的・自律的で活発な活動を行う施設としての拠点性の向上を図る。

### (3) スケジュール（実施期間）

令和5年4月～令和5年9月

### (4) 予算（国庫・単県）

—

### (5) 事業効果・検証結果

—

令和5年度上半期のエソール広島の活動状況について

〔 令和5年11月17日 〕  
わたらしい生き方応援課

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和5年度上半期の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

第1 エソール広島の事業の実施状況について

県が「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次広島県男女共同参画基本計画）において特に注力するポイントとして掲げる「性別にかかわらず自分らしい暮らし方の実現に向けた男女双方の意識改革」、「性の多様性の尊重と県民理解の促進」のほか、様々な悩みを抱える女性等への支援が必要であることから、次の3点を重点項目として事業を行っている。

実施に当たっては、G7広島サミット開催によるジェンダー平等や性の多様性に係わる理解促進の機運等を捉えたキャンペーンや講座等を実施するなど、事業内容の工夫や充実に努めている。


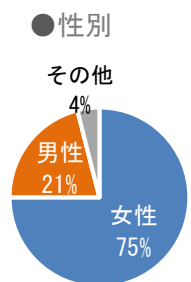
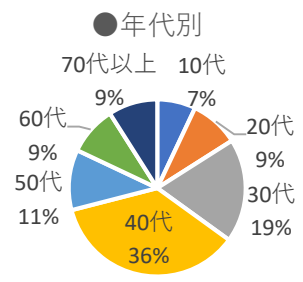
<重点項目>

- 1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革
- 2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
- 3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり


1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

(1) 「わたらしい生き方を選択するための「わた生きゼミ」特別企画

県民が日頃抱えている性別役割に関する「もやもや」した思いや違和感を川柳の形で広く募集・発信し、多くの人に届けることで、共感と気づきにつなげ、社会全体の意識改革を促すキャンペーンとして、ジェンダー川柳コンテストを実施している。

講座名	内容
<p>ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト</p> 	<p>9月14日から10月15日にかけて、「男だから」「女だから」など性別による思い込みや決めつけで「もやもや」したことを川柳の形で公募した。</p> <p>○応募総数 1,649 作品（応募者数 643 人）</p> <p>○多く寄せられた作品の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家事育児は女性がするもの、という固定観念への違和感</li> <li>・男性の家事育児参画に伴う男性の意識に関する気づき</li> <li>・「男らしさ」や「女らしさ」を規定する言葉に関するもやもや</li> </ul> <p>○応募者の属性</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="798 1836 989 2116"> <p>● 性別</p>  </div> <div data-bbox="1021 1836 1324 2116"> <p>● 年代別</p>  </div> </div>

## (2) 男女共同参画週間特別公開講座

講座名	内容
男女共同参画週間特別公開講座 「なぜ縮まらないジェンダー格差！」 	男女共同参画週間（6月23日から29日まで）に先立ち、ジェンダー格差が生じる要因の一つとして考えられる「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」についての公開講座を行った。 日時：6/14(水)13:30～15:30 参加者：101名 受講者の声：「男女格差を受け入れてしまう心のしくみについて学ぶことができた」など

## (3) 評価と今後の対応

ジェンダー川柳コンテストでは、知事定例会見等によるマスコミを通じた発信や、SNS広告の活用などにより、様々な世代から予想を上回る数の作品が寄せられた。（応募数：1,649作品、目標数：1,000作品）

下半期は、一般投票や優秀作品の授賞式など様々な機会を捉えて啓発を行い、社会全体の気づきや共感につなげるとともに、川柳作品を活用したワークショップを開催し、参加者の意識改革につなげることとしている。

## 2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

### (1) 相談業務（一般相談）※LGBT相談は、「3」の性の多様性についての項目で後述

様々な悩みに対する電話相談を実施し、複雑・深刻な悩みなどについては面接相談に移行するとともに必要に応じて専門機関に繋ぐ対応を行った。

電話相談と面接相談を合わせると前年度同期と同程度の1,153件の相談があった。相談内容では、「家族や職場等の人間関係に関する相談」が減少し、「健康、孤独などの人生における不安や悩みに関する相談」が増加しており、年代別では、50代からの相談が13.0%増加している。

### ア 相談件数

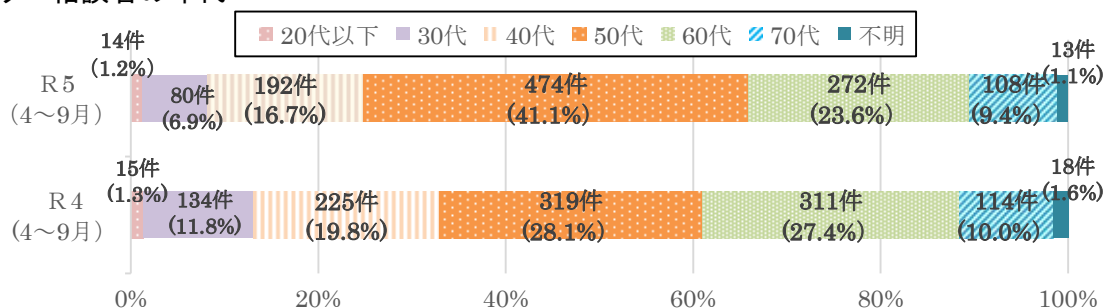
区分	電話相談※	面接相談※	計	前年同期比
令和5年度(4～9月)	1,101件	52件	1,153件	101.5%
令和4年度(4～9月)	1,085件	51件	1,136件	—

※電話相談は週5日（水曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く）、面接相談は原則、毎週金曜日

## イ 相談内容

相談内容	令和5年度 (4～9月)	令和4年度 (4～9月)	前年 同期比
家族（夫婦、子ども、親等）に関すること (離婚、夫婦間のDV、子どもの教育、親の世話など)	368件 (31.9%)	454件 (40.0%)	81.1%
男女間や職場の人間関係など対人に関すること (男女・隣人・友人・職場等対人関係におけるトラブルなど)	256件 (22.2%)	276件 (24.3%)	92.8%
健康、孤独などの人生における不安や悩みに関すること (病気を抱える辛さや不安、今後の生き方など)	465件 (40.3%)	352件 (31.0%)	132.1%
その他 (法律や福祉など様々な情報の収集など)	64件 (5.6%)	54件 (4.8%)	118.5%
計	1,153件 (100.0%)	1,136件 (100.0%)	101.5%

## ウ 相談者の年代



## エ 専門機関との連携

専門機関	令和5年度 (4～9月)	令和4年度 (4～9月)	主な事例
警察	0件	0件	
医療機関等	0件	4件	
行政機関（こども家庭センター等）	5件	16件	DV等
弁護士、家庭裁判所等	2件	17件	誹謗中傷等
民間施設	0件	1件	
計	7件	38件	


## (2) 専門家相談会

前年度に引き続き、弁護士等の専門家による困難を抱える女性等のための無料相談会を開催した。

相談会	内容
<p><b>専門家無料相談会</b></p> <p>皆さんの悩みや困りごとを専門家が聞きます。 内容は、LGBT相談の相談もいたします。 一人で抱え込まないで、勇気を出して一歩踏み出しましょう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 支援者によるLGBT相談 性別についてモヤモヤする、学校・職場に行きたくないなど</li> <li>◇ 臨床心理士によるこころの相談 子どもの発達のこと、家族のこと、こころの不調など</li> <li>◇ 弁護士相談 DV、夫婦別居、パラスメントなど ※相談は1人40分程度です</li> </ul> <p>開催日 2023年9月23日(土・祝)</p> <p>相談時間 ①10:00～ ②11:00～ ③13:00～ ④14:00～ ⑤15:00～ ⑥16:00～</p> <p>会場 エソール広島 おりづるタワー10階 広島市中区大手町1-2-1</p>	<p>LGBT相談員3名、弁護士2名、臨床心理士1名による無料相談を行い、DVや離婚等の家族問題や心の健康、LGBTに関する相談に対応した。</p> <p>日時：9/23(土・祝) 10:00～17:00</p> <p>相談者：延べ41名 (LGBT相談を除く：20名)</p> <p>相談者の声：「専門的なアドバイスをもらえ、次の対策が分かり、気持ちが楽になった」「心が軽くなった」など</p>

### (3) 支援者養成

困難を抱える方の支援の強化を図るため、対人援助に携わる方を対象とした支援者養成講座や公開講座を開催した。

講座	内容
<p><b>支援者養成講座等</b></p> 	<p>「カウンセリング技法」の講座や、専門知識の向上を図るため、実践的な内容を学ぶ「ワンデイセミナー」を実施したほか、公開講座を開催した。</p> <p>日時及び講座名等：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6/24 (土) ~7/22 (土) 10:00~16:00 (全3回) 対人支援の技術「カウンセリングから学ぶ」(39名)</li> <li>8/5(土)10:00~15:00 ワンデイセミナー「進む長寿化と高齢期生活の変容」(15名)</li> <li>8/27 (日) 13:30~15:30 公開講座「私たちの社会が抱える問題～性暴力～」(56名)</li> <li>9/3(日)10:00~15:00 ワンデイセミナー「子供たちを社会で育む」(15名)</li> </ul> <p>対象者：支援者、支援者を目指す人</p> <p>受講者の声：「今後の支援につながる材料を得た」、「支援者同士の意見交流ができてよかった」など</p>

### (4) 評価と今後の対応

窓口に寄せられる相談内容や相談会のアンケート等を踏まえて、相談者のニーズに応じた専門家相談会の開催や、支援者のスキルアップを図る講座等に取り組んでいる。

専門家による相談会は、予約が全て埋まったほか、複合的な悩みに対応できるよう複数分野の専門相談を受けられることとしたところ、2組が弁護士と臨床心理士を組み合わせた相談につながった。

下半期も引き続き、相談内容の傾向等を踏まえ、電話・面談相談や専門家相談会を実施する。

## 3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

### (1) 相談業務(LGBT相談) ※

週に1日LGBT相談窓口を開設し、性別への違和感に関する悩みや自身の性的指向に関する相談対応を行った。

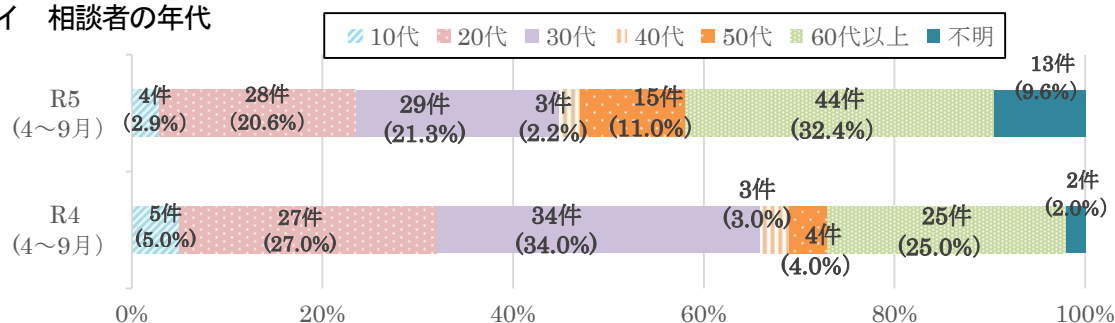
相談件数は前年度と比べて36%増加、年代別では50代以降の相談件数が増加しており、近年のLGBTに関する関心の高まりに伴い、今まで相談につながらなかった中高年層からの相談が寄せられるようになったと考えられる。

※LGBT電話相談は平成29年10月開設(開設当初は月1回)、平成30年6月からは毎週土曜日

#### ア 相談件数

区分	電話相談	面接相談	計	対前年同期比
令和5年度(4~9月)	136件	-	136件	136.0%
令和4年度(4~9月)	100件	-	100件	-

## イ 相談者の年代



## ウ 専門機関との連携

専門機関	令和5年度 (4~9月)	令和4年度 (4~9月)	主な事例
医療機関	0件	1件	性別変更のための医療等
家庭裁判所等	0件	1件	氏名の変更
民間支援団体	0件	6件	自分の性に違和感がある
計	0件	8件	

### (2) 専門家相談会 ※再掲

LGBT相談は、通常は電話相談のみの対応であるが、面談が必要な深刻な悩みが増加していることから、専門家による無料相談会を実施した。

個別相談のほか、他の相談者や専門家との交流の場も設け、合わせて21名の相談に対応した。

### (3) LGBTの理解促進

LGBT相談の多い若年層の理解を進めるために、県教育委員会との連携などにより、高等学校における出前授業を実施した。

講座名	内容
高校生向け出前授業	性の多様性等について正しく学ぶとともに、多様な人々がそれぞれの個性と能力を生かして自立した生活を送り、お互いを理解し尊重することの大切さなどについて学んでもらうために、出前授業を行った。 【R4上半期:11校(年間:28校)→R5上半期:6校】

### (4) 評価と今後の対応

性の多様性の理解が必ずしも十分ではないという社会課題を踏まえ、企業・学校等からの講座開催等のニーズを出前授業、研修受託につなげられるよう、積極的な広報活動が必要である。

また、専門家相談会において、個別相談のほか、他の相談者や専門家との交流の場も設けたところ、相談者から「自分と同じような悩みを持つ人と、実際に会って話ができて、よい機会だった。」などの意見が寄せられたほか、相談員からも「個別相談と交流の場があることでじっくり話したい方と仲間とつながりたい方、双方に対応できてよかった。」との意見があった。その他、LGBT相談と臨床心理士相談を組み合わせた相談が2組あった。

下半期も、若年のうちからLGBT等に対する正しい理解を促進するため、年間30校実施を目指して、高等学校等への出前授業の実施に取り組んでいく。



#### 4 複数の重点分野にまたがる取組等

##### (1) 主催事業

ア 出前授業 7件（県立高校連携 6件）※再掲

高校生がジェンダー平等や性教育などについて、正しく学び、考えるきっかけとするため、出前授業を実施した。

テーマ	回数
LGBT	4回
性教育	2回
デートDV	1回


イ 研修受託 8件


民間企業や地区人権教育・推進協議会、行政機関からの研修を受託して実施した。

テーマ	回数
LGBTについて	3回
ドメスティックバイオレンスの基礎知識	1回
職場におけるアンコンシャスバイアス	1回
対人支援の技術に関する研修会	1回
家事分担術・仕事と家庭の両立	1回
男女共同参画に関する講演	1回


(2) 他団体との連携 16件

女性の健康課題について考える「FEMTECH FES (フェムテック フェス)」や、女性のデジタル分野への就労に向けた意識醸成を目指した「みんなのDX研修～女性×デジタル～」など、今日的なテーマを取り上げて、民間団体や県と連携したイベントを行った。

講座名	内容
 <p><b>FEMTECH FES</b> 2023 in Hiroshima 7/17 (祝・月) 13:30-17:00 参加費 無料 電子チケット 頒布 要 出展者一覧</p>	<p>生理や妊活、妊娠期、産後、更年期など、女性特有の健康課題をテクノロジーの力で解決しようとするフェムテックに関するセミナーに加え、民間企業が、セミナーに関係する女性の生理用品や食品等のブース展示を行ったほか、進徳女子高等学校の生徒による「生理の貧困」に関する学びの展示も行い、多数の来場者があった。(ブース出展 10団体)</p> <p>日時：7/17(月・祝) 13:30～17:00</p>

講座名	内容
<p>みんなのDX研修</p> 	<p>女性の社会参画の重要性、デジタル技術と働き方改革などについて理解を深め、女性のデジタル分野への視野を広げ、就労に向けた意識醸成を図るために、DXや女性が活躍する会社の事例や、県の委託訓練等の紹介を行った。</p> <p>日時：9/29（金）13:30～15:30</p> <p>対象者：県内で就労を希望している方、スキルアップを希望している方など（48名）</p> <p>参加者の声：「デジタルにより自分の働き方や生き方の選択肢が広がると感じた」、「どんなスキルをどこで磨けるか具体的な話が聞けて、仕事のイメージができた」など</p>

(3) 大学等との連携 2件

連携先	連携内容	活動風景等
安田女子大学	「公共経営学概論Ⅰ」見学実習において、男女共同参画の現状や、エソール広島の歴史・活動について講義、施設紹介を行った。	 <p>FEMTECH FES での高校生展示</p>
進徳女子高等学校	「FEMTECH FES」に合わせて、進徳女子高校の生徒が、県立図書館で選んだ関連図書（33冊）の選定・展示を行い、その後エソール広島で、選定図書の貸出を行った。	

(4) 評価と今後の対応

「みんなのDX研修～女性×デジタル～」の受講者からは「デジタルの活用により自分の働き方や生き方の選択肢が広がると感じた」等の感想が寄せられた。

「FEMTECH FES（フェムテック フェス）」では、高校生の「生理の貧困」に関する学びの展示について支援したり、女性の健康課題に取り組む企業同士を繋ぐことができた。

下半期も、政治分野におけるジェンダー平等の実現に向けたセミナーを開催するなど、民間団体等と連携した取組を進めていく。

## 第2 エソール広島の利用状況について

### 1 エソール広島の利用状況

#### (1) 利用者数

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、施設利用者の合計は、コロナ前の令和元年度上半期の利用者数（10,958人）より約8%増加した。

区分	令和5年度 4～9月実績 A (割合)	令和4年度 実績 B		対前年 同期比 A/B	
		(割合)	4～9月		
施設利用者数	10,200人 (85.9%)	15,261人 (60.7%)	8,118人 (69.5%)	125.6%	
うち来館者数	8,959人	12,838人	6,428人	139.4%	
うちオンライン参加	1,241人	2,423人	1,637人	73.4%	
内訳	研修室・交流スペース利用	8,976人 (75.6%)	13,280人 (52.8%)	6,968人 (59.7%)	128.8%
	うちオンライン参加	1,241人	2,423人	1,637人	73.4%
	図書の貸出しや情報収集等での 利用(フリースペース利用)	1,224人 (10.3%)	1,981人 (7.9%)	1,150人 (9.8%)	106.4%
外部施設で開催した財団主催又は共 催の講座等の参加者数	1,674人 (14.1%)	9,871人 (39.3%)	3,561人 (30.5%)	47.0%	
うちオンライン参加	0人	78人	0人	-	
合 計	11,874人 (100.0%)	25,132人 (100.0%)	11,679人 (100.0%)	101.7%	
うちオンライン参加	1,241人	2,501人	1,637人	73.4%	

#### (2) 研修室及び交流スペースの稼働率

研修目的等での稼働率は82.1%と、5.7ポイント上昇している。

区分	開館日数 A	研修目的等での利用日数 B	稼働率 B/A
令和5年度(4～9月)	179日 <sup>※1</sup>	147日	82.1%
令和4年度(4～9月)	182日 <sup>※2</sup>	139日	76.4%

※1 令和5年度は、G7サミットにより5/18～5/21の4日間休館している。

※2 令和4年度は、台風のため1日休館している。

### (3) 団体区分別の利用状況

研修室・交流スペースの利用について、団体区分別で見ると、企業等が3,207人(35.7%)で最も多く、また利用形態別では、講座・研修が54.1%と多い。登録団体等の利用は2,789人(31.1%)となっている。

区 分	令和5年度 (4~9月) 〔団体別割合〕 (利用形態割合)	(利用形態)			令和4年度 (4~9月)	対前年 同期比
		講座・研修	交流会	会議・打合せ		
登録団体等 <sup>※1</sup>	2,789人 〔31.1%〕 (100.0%)	1,284人 (46.0%)	529人 (19.0%)	976人 (35.0%)	1,806人	154.4%
企業等 <sup>※2</sup>	3,207人 〔35.7%〕 (100.0%)	1,715人 (53.5%)	357人 (11.1%)	1,135人 (35.4%)	3,161人	101.5%
行政	2,397人 〔26.7%〕 (100.0%)	1,362人 (56.8%)	15人 (0.6%)	1,020人 (42.6%)	1,051人	228.1%
男女共同参画財 団(主催事業)	583人 〔6.5%〕 (100.0%)	494人 (84.7%)	0人 -	89人 (15.3%)	950人	61.4%
合 計	8,976人 〔100.0%〕 (100.0%)	4,855人 (54.1%)	901人 (10.0%)	3,220人 (35.9%)	6,968人	128.8%

※1 登録団体：ジェンダー平等の推進を目的としてエソール広島を利用して活動する団体等

※2 企業等：設立目的自体は男女共同参画の推進ではないが、ジェンダー平等の推進に関連して利用した団体等

### (4) 評価と今後の対応

男女共同参画財団主催の事業をはじめ、県や民間団体との共催事業のほか、エソール広島と関わりのある学生が主催する団体によるジェンダー関連イベントの会場として使用されるなど、利用者層が広がり、来館者数が増加する一方で、オンライン参加は減少している。

下半期も、エソール広島において、ジェンダー平等や性の多様性の理解促進の機運等を捉えながら社会のニーズを反映するなど、講座等のテーマの工夫や内容の充実を図り、来館者数の増加と、県内全域から参加できるオンラインの活用強化に取り組むとともに、個人や団体が交流・意見交換し、自主的・自律的で活発な活動を行う施設としての拠点性の向上を図る。

情報発信・蔵書貸出状況

(1) ホームページ等

ホームページ	<p>アクセス件数：56,149件（前年4～9月：62,998件）                  アクセスの多いページ（HOMEを除く）                  ① 施設利用（3,876件）② 施設案内（3,683件）                  ③ 相談したい方（3,205件）④ エソール広島の概要（2,376件）                  ⑤ 講座イベント情報（1,785件）⑥ 施設予約状況（1,706件）⑦ 講座情報（1,551件）⑧ 第21期メンタルサポーター養成講座（780件）⑨ 講師派遣（776件）⑩ 対人支援の技術～カウンセリングから学ぶ～（725件）</p>
フェイスブック	<p>投稿回数：40回（情報数40件）                  （前年4～9月：40回（情報数46件））                  フォロワー数：730人                  配信内容：                  ①-1 研修・イベント情報（財団主催）（26件） ①-2 イベント情報（共催事業）（5件）② 図書の紹介（1件）③ 国・県情報（7件）④ 施設情報（1件）</p>
インスタグラム	<p>投稿回数：17回（情報数17件）                  （前年4～9月：11回（情報数20件））                  フォロワー数：154人                  配信内容：                  ①-1 研修・イベント情報（財団主催）（6件） ①-2 イベント情報（共催事業）（4件）② 図書の紹介（1件）③ 国・県情報（5件）④ 施設情報（1件）</p>
ライン	<p>投稿回数：13回（情報数13件）                  （前年4～9月：17回（情報数17件））                  フォロワー数：65人                  配信内容：                  ①-1 研修・イベント情報（財団主催）（9件）                  ①-2 イベント情報（共催事業）（1件）② 国・県情報（2件）③ 施設情報（1件）</p>
メールマガジン	<p>配信回数：17回（情報数56件）                  （前年4～9月：15回（情報数85件））                  登録者数：1,355人                  配信内容：                  ①-1 研修・イベント情報（財団主催）（27件）                  ①-2 イベント情報（共催事業）（13件）                  ② 国・県情報（14件）③ 図書の紹介（1件）                  ④ 施設情報（1件）</p>

(2) 文献情報等

区分	保有数	貸出数	前年度	
			一般図書	女性問題に関する図書、女性の活動を支援する図書
行政資料	国・都道府県作成の男女共同参画に関する調査・統計・報告書等	433 冊	(館内閲覧)	(館内閲覧)
DVD	女性の生き方を考える国内外の映画・ドキュメンタリー等	29 本	0 本	0 本